

福井 あのまち この町

WAKASA AREA INFORMATION

2023.3.10 春号

来春、北陸新幹線敦賀延伸へ



若狭の 新しい顔



2024年春に北陸新幹線が敦賀まで延伸し開業するまで、約1年。このタイミングに合わせ、嶺南の2市4町では新しい複合施設や観光拠点などのハード面、まちづくり構想などソフト面の整備を順次進めている。すでに完成した施設、現在建設中の施設もあり、まちの表情は少しずつ変わりはじめている。福井県外からの新しい観光客を呼び込むとともに、地域住民にとっても交流拠点となる、若狭の新しい顔を紹介する。

INDEX

- | | | | |
|----|------|----|----------|
| 2面 | 敦賀市 | 7面 | 高浜町 |
| 3面 | 美浜町 | 8面 | 若狭エリアマップ |
| 4面 | 若狭町 | | 福井県内の電力 |
| 5面 | 小浜市 | | 関連PR施設 |
| 6面 | おおい町 | | |

電気新聞地域版

地域住民の交流場、にぎわいの拠点に

美浜町



道の駅若狭美浜 はまびより

「はまびより」の完成イメージ

JR小浜線美浜駅前、国道27号沿いに「道の駅若狭美浜はまびより」の建設が進んでいる。

建物本体はこの3月末に竣工し、4～5月に入居する飲食施設の開店準備を行い、6月2日にオープンする予定。

「美浜町の観光の玄関口」「地元のにぎわいの中心」として、道路利用者、観光客、そして地域住民に広く親しまれる施設となる予定だ。

「はまびより」は、地元産品の物販や飲食施設など道の駅の基本的な機能に加え、広場や子育て交流施設、多目的スペースなど独自の施設も整備される。

地域や世代を超えた様々な人々が集い、交流する拠点となる予定だ。このプロジェクトを推進する美浜町土木建築課にぎわい拠点整備室によると、「他の道の駅にはない、乳幼児や児童を持つ子育て家族のため、おむつのばら売りや子どもの一時預かりサービスを実施する」と、独自性と地域住民のための交流拠点としての役割を強調する。建物2階部分にはレンタルオフィスなどを設け、地域住民が各種教室や講座を開催し、将来に備えたお試し出店などができる。非常用電源、貯水槽、備蓄倉庫なども整備し、地域の防災機能も強化する。

道の駅整備は、美浜町地域づくり拠点施設整備事業として進められている。道の駅を中心に駅舎や駅前ロータリー、駅駐車場、駅前歩道の屋根など美浜駅周辺を順次整備していく。これらを通じて、「コンパクトなまちづくり」「美しい美浜にぎわいゾーン構想」を推進していく。



地域交流の拠点となる子育て交流施設



農林水産物の直売所

MEMO

美浜駅前建設が進む「はまびより」



道の駅若狭美浜はまびより

美浜町松原35-15-1

JR美浜駅に隣接「美浜町の玄関口」の道の駅

JR利用者には美浜駅下車すぐ、自動車利用者にも国道27号沿いと、使い勝手がいい絶好の立地。1万1800平方メートルの敷地に駐車場121台(普通車108台、大型車10台、身体障害者用駐車場3台)、トイレ、観光案内所、飲食施設、広場、交流施設、多目的スペースなどが充実。イチゴなど地元農産物、へしこや干物など海産物加工品を扱う直売所も設けられる。飲食施設も喫茶店、レストラン、バーと多様な店をそろえる。

嶺南への玄関口

敦賀市

「空にうかぶ駅」



新しい敦賀駅の完成予想(写真提供=JRTT 鉄道・運輸機構)

敦賀駅

北陸新幹線の金沢～敦賀間の開業が、2024年春と1年後に迫り、駅舎の新築工事や軌道敷設工事が最終局面に入りつつある。現在、敦賀駅では大がかりな建築工事が進められ、22年度内には駅舎の外観が完成する。

北陸新幹線が敦賀まで延伸されることで、北陸圏だけでなく、首都圏や関西圏からの交流人口が大きく増加し、福井県への多数の集客が見込まれる。人との流れによる経済効果は多岐にわたる。敦賀以西の嶺南地区にも大きなビジネス、観光の機会をもたらすものと期待されている。

敦賀駅は、北陸新幹線からのビジネス客や観光客を嶺南地域へ導く玄関口となることから、新しい駅舎には様々な創意工夫が盛り込まれている。高架駅となり、3階に新幹線ホーム、2階に乗り換えコンコース、1階に在来線ホームを整備する。屋根の最高部は37メートルに及び、整備新幹線の駅の中では日本一の高さとなる。

そのコンセプトは「空にうかぶ」自然に囲まれ、港を望む駅舎で、「きらめく大海から未来へ飛翔する」イメージでデザインされた。窓からは敦賀市街地の町並みだけでなく、敦賀湾を見渡すことができる。ホームの床は船の甲板をイメージさせた木調タイルで仕上げ、待合室は船をモチーフとしたデザインとしている。コンコースは、天井全体を北前船の帆をイメージした浮遊感のあるデザインとし、スケール感の大きな空間となっている。地域の人が利用しやすい、安全で、より使い勝手がよいよう、各所にユニバーサルデザインを導入するなど、「人に優しい駅」にも配慮している。



コンコースの天井は北前船の帆をイメージ(写真提供=JRTT 鉄道・運輸機構)



ホームの床は甲板をイメージ(写真提供=JRTT 鉄道・運輸機構)

MEMO

駅前の新しい交流拠点「otta」



敦賀駅西地区エリア

「otta」

敦賀市鉄輪町1丁目

(営業時間・定休日は、店舗毎に異なるため詳細はホームページ参照)

新たな賑わいを創出する交流拠点

敦賀駅西地区エリアには、敦賀市が官民連携して整備したTSURUGA POLT SQUARE「otta(オッタ)」が22年9月にオープンした。飲食店、物販店、ホテル、広場公園などが集積したエリアで、地域の新しい交流拠点として賑わいを見せている。中でも市の公設書店「TSURUGA BOOKS&COMMONS(ちえなみき)」は、一般書店には並んでいないような書籍も取り揃えており、「知らなかった本と出合える場」として好評を博している。

今春リニューアルで 新作メニューも

小浜市



道の駅のリニューアル後のイメージ

道の駅 若狭おばま

舞鶴若狭自動車道の小浜インターチェンジを降りてすぐ、小浜市の玄関口にあるのが「道の駅若狭おばま」だ。現在は店舗を全面改装中で、3月31日にリニューアルオープンする。敷地面積は1.6倍に拡大し、フードコーナーでは新作メニューの販売を開始するほか、物販コーナーでは地元農産物の取り扱いを拡充するなど、新たなにぎわいを見せることになる。

これまで道の駅「フードコーナー」では「鯖サンド」が人気メニューだったが、リニューアルを機にメニューを刷新、鯖の醤油干しを竜田揚げにして、「ピザに近いパン生地にはさんだ「鯖ポケット」として販売する。また、「サーモンバーガー」「鯛カツバーガー」なども、順次新作メニューに改めていく。地元食材を使った定番メニューの「いちじくソフトクリーム」「梅ソフトクリーム」は引き続き販売する。

物販コーナーでは売り場面積を拡大することで、特に地元野菜など「里山」でとれた農産物の取り扱いを拡充する。道の駅を運営する株式会社まちづくり小浜「おばま観光局」によると、「これまで小浜は海産物のイメージが強かったが、農産物も強化し里海と里山のイメージをアピールしたい」という。地元の各種ブランド米の取り扱いも広げていく。

道の駅では、毎月1回第3日曜日に朝市、フリーマーケットを開催し、地元住民が積極的に出店し、幅広い層に参加してもらおう取り組みも進んでいる。「インターチェンジを降りてすぐという県外観光客の案内拠点ではあるが、地元の方々にも親しんでもらいたい」（おばま観光局）と、地域密着を心がけている。



地元産の米販売も拡充する



定番のいちじくソフトクリーム



新メニューの鯖ポケット

MEMO

道の駅若狭おばま

小浜市和久里24-45-2 TEL. 0770-56-3000
営業時間 10:00~22:00 年中無休(年末年始を除く)

オリジナル商品も販売

地元の魚や野菜に工芸品、銘菓などの特産品や名産品を取りそろえている。物販コーナーには、名物の焼き鯖寿司から、小浜ならではの醤油干しの魚の干物、若狭小浜鯛ささ漬などの海産物加工品から、伝統工芸の若狭塗り箸まで、多彩な土産物を幅広くそろえている。地元食材を活用したプリン、どら焼き、根昆布だしなど、道の駅オリジナル商品も好評。隣接したレストラン「和久里のごはんや おくどさん」では、地元の食材をふんだんに使ったランチが楽しめる。



スタッフも笑顔でおもてなし

空き家を整備・分譲し、まちの機能を強化

若狭町



モデル分譲地のイメージ

若狭町 スマート エリア構想

水と緑の豊かな自然に囲まれた環境

「スマートエリア構想」とは、都市機能が集中するJR駅近郊エリアで、エリア内に点在する空き家、空き地を再整備し、様々な機能を強化することで、定住人口の確保、行政・自治機能の維持など、人口減少の中でも持続可能なまちづくりを進めるというもの。若狭町では、上中駅を中心に周辺エリアの再整備を検討している。単なる住宅団地の整備ではなく、エリア全体で既存機能を発展させ、新しい居住空間の整備を促進する。

住民の町外への転出を抑え、町外からの転入を促進する。町民が増えることで、町が持続可能になり、活性化につながる。コンパクトシティ化で将来の行政コストの低減も可能になる。

若狭町の構想では、上中駅周辺エリア内の空き家、空き地を整理し分譲地を造成する。民間による造成を基本とするが、先行して町による小規模分譲地もモデルとして造成する。環境に配慮した太陽光発電装置や蓄電池、HEMS（ホーム・エネルギー・マネジメント・システム）などを搭載したスマートハウスを建築の条件とする。エリアの魅力を上げるため、公共施設などにIoTを取り入れる。22年度中に構想を策定し、23年度に構想に基づく設計に着手、24年度にモデル分譲地の造成を行う。25年度には分譲地の販売を開始する計画。

若狭町総合政策課によると、「全く新しい更地を開発するのではなく、まちの中の空き家、空き地を再開発するのが若狭町の特長」という。「IoT技術により様々な機能を集約することで、持続的成長が可能なまちづくり、長期的視野でもコンパクトなまちづくりが実現する」と、積極的に推進している。

IoTや省エネ技術が積極的に導入される

エリア全体で快適な居住空間を提供する

上中駅を中心に再開発が進められる



IoTや省エネ技術が積極的に導入される



エリア全体で快適な居住空間を提供する



上中駅を中心に再開発が進められる

MEMO

若狭町スマートエリア構想

第1回策定会議を開催し構想を説明

若狭町スマートエリア構想の第1回策定会議が22年6月に開催された。第1回会議では、福井大学が構想の趣旨を住民に説明し、活発な質疑応答が行われた。上中駅周辺に役所や診療所、学校が集まっていることから、このエリアで重点的に空き家、空き地を分譲地として再整備していく構想が説明された。参加者の住民からは「IoTが様々な分野につながっていく予感がある」との期待感が示された。



活発な意見交換が行われた第1回会議

高浜町

6月までいちご狩り、
食べ比べを楽しむ



ジョリーファームでいちごを育てる代表の酒井輝さん

いちご狩りを楽しむ観光農園

ジョリー
ファーム

いちご狩りでは、熟して赤くなったものを食べてもらいたい。予約がいっぱい入っても青いちごのままでは対応できない。「常に予約したお客さまが楽しんでもらえる分を確保しておくことが大切」と、運営の難しさを語る。それでも、「お客さまつながりを持ちたくて観光農園の仕事についた」「お客さまから直接おしかった」と言ってもらえて、なじみのお客さまに何度も来てもらうのは励みになる」と着実な手応えを感じている。

「いちごの種類は「紅ほっぺ」「章姫」「よつぼし」に加え、昨年から「ほしうらら」を栽培している。ジョリーファーム代表の酒井輝さんによる「この観光農園は4種類のいちごを食べ比べできるのが特長で、自分の好みに合ったいちごを探してほしい」という。近隣では「よつぼし」「ほしうらら」を栽培している農園は少ないためか、ふだん食べ慣れた品種より、珍しい品種に興味を持たれるようで、「風味が濃厚でコクがある」「よつぼし」はリピーターからも人気が高いという。

ジョリーファームは、高浜町でいちご狩りを楽しむ観光農園「海辺のいちご畑」を運営している。空調付きハウスのため、天候を気にすることなくいちご狩りを楽しむことができる。いちごは人の腰の高さくらいの高設栽培棚で育成されており、子どもやお年寄りでも楽な姿勢で収穫できる。床面は全面シート張り、清潔な環境を維持している。



持ち帰り用も販売されている



風味が濃厚な「よつぼし」



昨年から栽培している「ほしうらら」

MEMO

ジョリーファーム

高浜町和田55-101 TEL. 0770-50-9024
定休日 月・金曜日(祝日の場合は営業)

持ち帰り用にジャムやどら焼きも

舞鶴若狭自動車道の太田大浜インターチェンジから自動車約13分。JR小浜線若狭和田駅から車で約2分、徒歩で約13分。いちご狩りのシーズンは1月から6月上旬まで。電話で事前予約が必要で、来園予定の1か月前から予約可能。ネットでの予約も可。いちご狩りは60分食べ放題。園内売店では、土産用や持ち帰り用にパック入りいちご、いちごジャム、いちごどら焼き、いちご大福などを販売している。入園料金はホームページなどを参照。



いちごうめジャムの販売も行う



おおい町

商工観光機能集積し、地元にも密着



開放的な空間でくつろぐことができる

昨夏オープンしたばかりのSEE SEA PARK

SEE SEA
PARK

「リライトおおい」は、おおい町うみんぴあエリアで22年7月にオープンした商業施設だ。チャレンジショップをはじめ、カフェ、アウトドアストア、リラクゼーションなど多様な店舗が集積している。おおい町商工会やおおい町観光協会などの公共機関4団体も入居するなど、町の商工観光の拠点機能も併せ持つ。

チャレンジショップ区画では、これから新しく店舗営業にチャレンジする人のためのお試し出店ができ、数々のチャレンジを受け入れ支援するインキュベーション施設となっている。シェアオフィスやコワーキングなどのスペースも設けられる。アウトドアストアには、これから若狭の雄大な自然を楽しもうというアウトドア派のスタート拠点となるよう、用具とノウハウをそろえている。

施設を管理運営する「リライトおおい」は「商工観光の拠点だけでなく、「おおい町民に愛される建物」というコンセプトで建てられた」と語る。毎月1回新月の週末の土曜(4月以降は第3土曜)に「NEW MON MARKET」を開催。キッチンカーによる出店などでにぎわい、観光客だけでなく地域住民にも親しまれている。施設では、おおい町ゆかりの絵画や書を入れ替わりで展示したり、住民に興味深いテーマで講座を定期開催するなど、活発に利用されている。「地元の高齢者にとっても、ゆつくりくつろいでもらえる施設を目指している」「リライトおおい」といふ。



アウトドア用品も充実



カフェで安らぎのひとときを



各種展示会も行われる

MEMO

SEE SEA PARK

おおい町成海1-8-5 TEL. 0770-77-4489
営業時間 10:00~22:00 定休日 水曜日
(店舗毎に異なるため詳細はホームページ参照)

新しいことに出会える場所

「みんながつくる公園」「誰もが自由に自分らしく楽しめる場所、いつも新しいことに出会える場所」を目指した商業施設。3つのエリアで構成された「WEST」にはチャレンジショップやカフェなど、「EAST」にはアウトドアストアやアパレル店が入居し、「FOREST」は子どもも大人も楽しめる芝生広場となっている。様々なイベントが順次開催され、県外からの観光客にとっても、おおい町住民にとっても、新しい出会いの場を提供している。



アパレル関連の出店も





交通アクセス

大阪から	電車	特急 敦賀:約1時間30分、小浜:約3時間	新快速 敦賀:約2時間、小浜:3時間30分
	車	名神-北陸自動車道 敦賀:約2時間	名神-中国自動車道-舞鶴若狭自動車道 小浜:約2時間30分
	高速バス	大阪~敦賀:約2時間20分	
東京から	電車	東海道新幹線-(米原経由)-北陸本線特急 敦賀:約3時間	東海道新幹線-(米原経由)-北陸本線特急-小浜線 小浜:約4時間30分
	車	東名-名神-北陸自動車道 敦賀:約6時間	東名-名神-北陸自動車道-舞鶴若狭自動車道 小浜:約6時間30分
	高速バス	東京~敦賀:約7時間	
名古屋から	電車	特急 敦賀:約1時間30分、小浜:約3時間	
	車	名神-北陸自動車道 敦賀:約1時間30分	名神-北陸自動車道-舞鶴若狭自動車道 小浜:約2時間
	高速バス	名古屋~敦賀:約2時間	

※車の場合(国道27号線) 高浜-(約15分)-おおい-(約30分)-小浜-(約25分)-若狭-(約15分)-美浜-(約30分)-敦賀

福井県内の電力関連PR施設

福井県内には関西に電気を送り届けている原子力発電所があります。県内にある原子力発電について学べる施設等をご紹介します。

美浜原子力PRセンター(美浜町)

美浜原子力PRセンターでは25分の1発電所模型や原子炉内部を実物大の模型と映像でリアルに再現した体験シアター、VR(バーチャルリアリティ)による美浜発電所紹介など体験できます。2022年6月には、センター内1Fにカフェ「NEU」がオープン。

- ▶ガイド:開館時間は午前9時~午後5時、休館日は毎週月曜日(休館日が祝祭日の場合は翌平日)・年末年始
- ▶交通アクセス:舞鶴若狭自動車道「若狭美浜IC」から車で約20分/JR小浜線「美浜」駅下車 タクシー約30分
- ▶住所:福井県三方郡美浜町丹生 [Tel] 0770-39-1210



25分の1発電所模型

若狭たかまエルどらんど(高浜町)

若狭たかまエルどらんどはエネルギーを学ぶ体験型サイエンスパーク。全天候型の大温室「トロピカルワンダー」では、子どもから大人まで楽しめる空中アスレチックなどスリル満点のさまざまなアクティビティを体験できます。

- ▶ガイド:開館時間は午前9時30分~午後5時(空中アスレチックは午前10時~午後5時)、休館日は毎週月曜日(休館日が祝祭日の場合は翌平日)・年末年始。一部施設のみ有料。
- ▶交通アクセス:舞鶴若狭自動車道「大飯高浜IC」から車で約10分 JR小浜線「若狭和田」駅下車 徒歩約8分
- ▶住所:福井県大飯郡高浜町青戸4-1 [Tel] 0770-72-5890



空中アスレチック

エルガイアおおい(おおい町)

エルガイアおおいでは「考えよう!エネルギーの未来と地球の未来」と題し、松本零士氏プロデュースの宇宙発電所アトラクションやVR(バーチャルリアリティ)映像システムによる「原子力発電所見学ツアー」など楽しみながら学び、発見できるミュージアムです。

- ▶ガイド:開館時間は午前9時~午後5時、休館日は毎週月曜日(休館日が祝祭日の場合は翌平日)・年末年始
- ▶交通アクセス:舞鶴若狭自動車道「小浜西IC」から車で約6分 JR小浜線「若狭本郷」駅下車 徒歩約20分
- ▶住所:福井県大飯郡おおい町成海1-2 [Tel] 0770-77-2144



宇宙発電所をイメージしたアトラクション

※新型コロナウイルスの感染予防のため、臨時休館となる場合があります。お出かけの際には事前に当該施設のホームページをご確認ください。